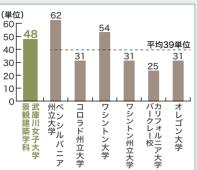
TOPIC

欧米のランドスケープアーキテクチュア学科 並みの演習時間を確保。

さまざまな知識を統合し美しい風景を創造する力を養うためには、 設計演習が不可欠です。ランドスケープ教育の先進国、米国の主なラン ドスケープアーキテクチュア学科における演習の単位数は平均で39単 位*です。景観建築学科の演習単位数はこれを大きく超える48単位*。 質・量ともに世界水準のデザイン教育を行います。これだけ多くの演習 時間を確保しているのは、日本では本学科だけです。

(※学部卒業に必要な演習単位数)



米国の公立大学ランドスケーブ アーキテクチュア学科と武庫川女 子大学景観建築学科の演習授業単

(「三谷 徹,ランドスケープ学教育におけるデザインスタジオ演習の可能性 -そ の位置と強度-, 造園学会ランドスケープ 研究, vol.83(2), pp96-99, 2019 年 7 月」にもとづき武庫川女子大学 景観建

Q&A あなたの疑問にお答えします!

◎「景観建築」とは何ですか?

A 欧米では建築学部の中に、建築学科と、自然との関係を大切にして庭や広場などの屋外空間の設計を学ぶランドスケープアーキテク チュア学科があるのが一般的です。しかし、日本の大学ではランドスケープが農学系に、建築は工学系に位置づけられているため、 両分野に精通する専門家は希少です。建築学とランドスケープ学が融合した、これまで日本になかった新しい学びを通して、自然・人・ 建築の共生を創造できる設計者を育てる、それが景観建築学です。

② 建築学科との違いは何ですか?

▲ 建築学科との大きな違いは、設計演習で庭・公園・街路などのランドスケープと建築設計が一体化した課題に取り組むことです。そ のために、講義科目では、建築設計に必要な知識と技術に加え、生態学、植物学、緑地計画、流域保全、庭園史などランドスケープ 分野についても深く学びます。また、実際に植物を育てる「緑化実習」も景観建築学科ならでは。ドローンや VR など映像情報技術 を駆使して設計やプレゼンテーションに生かす手法の習得にも力を入れています。

◎ どんな資格を目指すのですか?

A 規模・用途・構造に関わらず、あらゆる建物を設計できる「一級建築士」と、地域の風景の調和を図り、緑豊かな美しい屋外空間の デザインの専門家である「RLA (登録ランドスケープアーキテクト)」の2つの資格取得を目指します。大学院修士課程に進学すれば、 一級建築士の資格登録に必要な実務経験 2 年、RLA の受験資格取得に必要な実務経験 3 年のうち 2 年を、大学に通いながら満足す ることができます。

◎ 想定される進路・就職先は?

(A) 大学院への進学、設計事務所(建築、公園、庭園などの設計、都市計画)、総合建設会社(建築、公園、庭園などの設計・施工管理など)、 官公庁(建築、造園、土木)、ディベロッパー(不動産の企画・開発など)、コンサルティング企業(都市開発のための調査・企画など)、 住宅メーカーなどです。

② 数学や物理に不安があるのですが、大丈夫でしょうか?

▲ 構造力学や環境工学、水理学や土質力学など、建築や景観を専門的に学ぶ上で数学や物理の理解は必要不可欠です。そこで、1年生 の前期にリメディアル教育講座を課外に開講し、数学と物理のうち高校で学習できなかった部分、および理解が不十分であった部分 を学習できるように配慮しています。

武庫川女子大学 建築学部

景観建築学科 / 建築学科

武庫川女子大学大学院 建築学研究科 景観建築学専攻 / 建築学専攻

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町1-13 TEL/0798-67-4501

お問合せ先

■見学のお問合せ/0798-67-4501

■入試に関するお問合せ 入試センター直通TEL/0798-45-3500 テレホンサービス/0798-45-8888(入試情報)

ホームページ日々更新中!



見学はいつでもできます。出張講義も受付中!

受験生やその関係の方は事前に予約がなく ても、キャンパスを見学していただけます。 守衛室までお気軽にどうぞ。閉門時はインター ホンで呼び出してください。 ※ただし、職員在館時に限ります。 高校での出張講義も承ります。

アクセス 武庫川女子大学は、大阪と神戸のほぼ中間に位置しています。 上甲子園キャンパスは、JR神戸線「甲子園口」駅より徒歩約10分

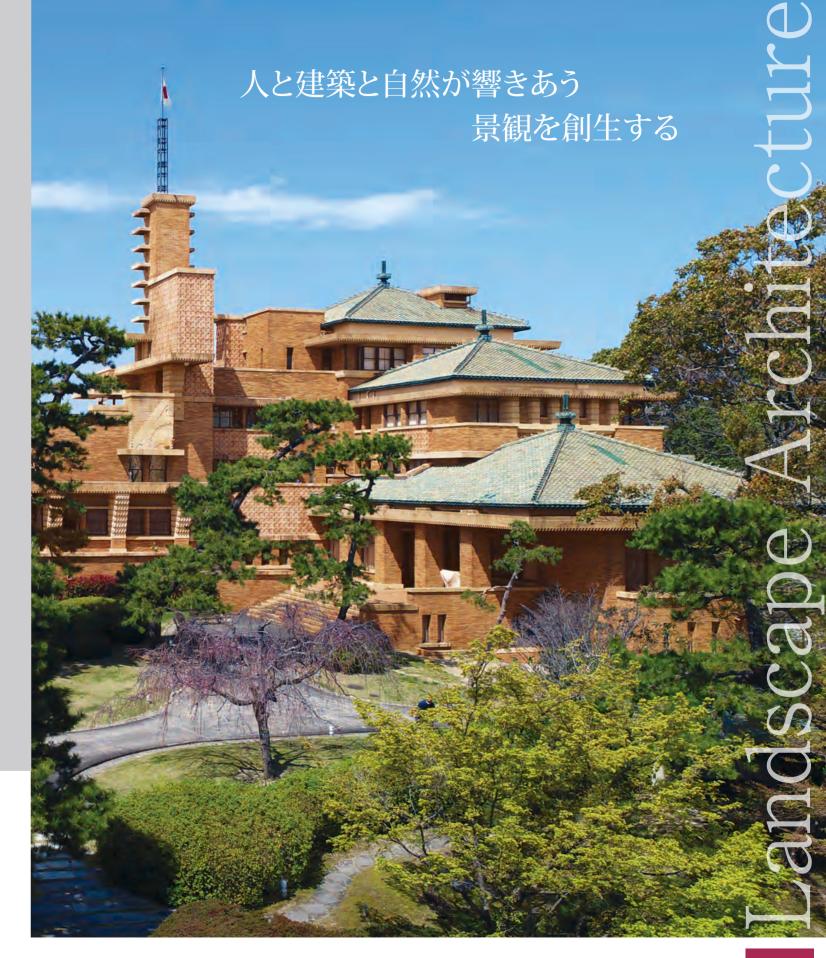
●JR「大阪」駅 → JR「甲子園口」駅 (14分)

●JR「三/宮」駅 → JR「甲子園口」駅 (17分)(新快速でJR「芦屋」駅から普通に乗り換え)



景観建築学科 Department of Landscape Architecture School of Architecture

景観建築学専攻 Landscape Architecture Major Graduate School of Architecture





武庫川女子大学

意建築学専攻

發建築学 研究科

養景観建築学専攻

グローバル社会で 発揮できる国際通用力と 独創力を備えた 建築設計技術者を 育成します。

建築学科の教育は、建築系学士修士課程6年間のJABEE認定により、建築家教育の世界水準であるUNESCO-UIA建築教育憲章※に対応しています。この6年一貫の欧米型建築家教育を通し、真に人間的な住環境を創生する教養、知識、技術、感性を修得。さらに国際通用性も備え、グローバル社会に貢献できる建築設計技術者を目指します。

※国際社会における建築教育と資格の相互承認を目的に、UNESCO(国際連合教育科学文化機関)とUIA(国際建築家連合)により採択されたUNESCO-UIA建築教育憲章では、欧米型の建築教育に基づく世界水準(「5年以上の専門教育」「少人数制対話型演習の重視」など)が定められています。



木造住宅から海外のリゾートホテル、膜構造の駅舎、劇場、病 たたじる種々様を連絡が記して取り組み「連絡記しな習」



建築学科

建築学科では、1年

間に6課題もの創造

的な設計演習に取り

組みます。これに加え、構造材料や環境

工学の実験などを通

して、さまざまな用

途や規模、構造の建

築を設計できる高度

な能力を徹底的に磨

きます。

人と自然の共生を 実現できる問題解決力と 創造力をもつ 建築・景観設計技術者を 育てます。

これからの建築や都市は、水辺や集落などの文化的景観、街路樹や公園緑地を含む都市景観、屋上や壁面の緑化技術、木・紙・土のような自然素材、自然環境保全など、自然との関係がさらに重視されます。景観建築学科では、建築とランドスケープを一体的に学ぶ、これまでの日本にはないカリキュラムを準備。自然、建築、映像情報技術の総合的な学びを通し、自然と共生する社会に貢献できる建築・景観設計技術者を志します。



「建築」「ランドスケープ」「映像情報技術」を融合し、公園や 市など広域の住環境の設計も含む「景観建築設計演習」

「建築」の武庫女が、「建築と景観」の武庫女へ。このステージから新たに羽ばたくのは、あなたです。

2006年の開設以来、多くの建築設計技術者を送り出してきた武庫川女子大学生活環境学部建築学科は、 2020年4月、女子大学初の建築学部に生まれ変わりました。建築学科に加え、景観建築学科を新設。現在の建築学科が 培ってきた演習中心の少人数制スタジオ型教育や体験型のフィールドワークは、両学科の共通特長として継承します。



Point '

歴史的名建築の校舎、森、庭園。 キャンパスすべてが"生きた教科書"



Point 3

全授業時間の半分以上を占める 少人数制対話型の演習



Point 2

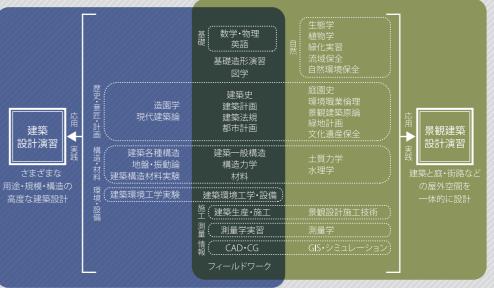
1人1台専用の製図机と パソコンを備えたスタジオ



Point 4

土曜日は「見て触れて学ぶ」 フィールドワーク

【2つの学科の関係と学びのキーワード】



公園、街路など)の両方を設計します。建築設計に必要な知識と技術に加え、植物・水・土などの自然、コンピュータによる景観分析やシミュレーション技術について

も深く学びます。

景観建築学科

景観建築学科の設計

演習は1年間に4課

題。各課題で建築と ランドスケープ(庭、

庭と一体の建築空間。 最も美しい眺めはどこだろう。







デザイン、芸術、ものづくりが好き。 ワクワクするような建物を設計したい。 心やすらぐ庭を作りたい。 緑あふれる都市をデザインしたい。 花や樹木が好き。 自然環境保全や防災に貢献したい。

そんな あなたを 景観建築学科は 求めています

映像情報のスキルを身に付けたい。

一生の仕事を見つけたい。



、が集い、文化が生まれる

自然を敬うほど、都市は輝く。





Concept

古来、私たちは自然の美しさと恵みを享受するとともに畏敬の念 を抱きながら、豊かなくらしを育んできました。ところが、水や大 気、生態系に影響がおよんでいる現在、持続可能な社会を創生す るために、人と自然との関係を問い直し、先人の知恵にも学びな がら新たな哲学を築く必要があります。人、建築、景観、そして自 然のつながりを深く考え、倫理観に根ざした自然共生を実現でき るプロフェッショナルを育てるのが、景観建築学科です。「自然」 「建築」「映像情報技術」を融合させた、演習中心の新しい教育を 実践。自然共生の"生きた教科書"であるキャンパスと、卒業まで 専用の創作スペースが確保されたスタジオで、建築・景観設計技 術者を志す高度な能力と豊かな感性を培います。

人と自然と建築が尊びあう次代を築く、

建築・景観設計技術者を養成します。

自然

- ●自然景観 ●文化的景観
- ●诰園
- ●園芸

人間 建築

- ●基礎造形
- ●建築計画

- 映像情報技術
- ●地理情報システム(GIS)
- バーチャルリアリティ(VR)

学習•教育到達目標(学士課程)

■育成しようとする自立した設計技術者像 『真』を求める「理性」を磨き、『善』を行う「人格」を 練磨し、『美』を享受する「感性」を養うとともに、 これらを応用して社会に貢献できる、 建築に関する自立した設計技術者の育成を目指す。

■学習·教育到達目標

- (A)高い「理性」により、「強」や「用」を含む「真」の視点から建築・景観的事象を 理解するための広範な「知識」を修得し、さらに修得した「知識」を応用して 問題を解決する基礎的能力を培う。
 - (A-1) 語学や諸学の基礎学力の修得、及び自らの主張を社会に提案し、合意を 形成できる基礎的能力を培う。
 - (A-2) 構造や諸災害などに対する安全性を「強」として理解し、その基礎的技術 を積極的に吸収し、演習によって空間的に構成する基礎的能力を培う。
 - (A-3) 機能性や環境負荷などに関する快適性を「用しして理解し、その基礎的技術 を積極的に吸収し、演習によって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。
- (A-4) コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらのもとで、適切 な設計・施工計画を進められる基礎的能力を培う。
- (B) 「感性」豊かな個性を、関連する「知識」や実践的「創作」活動により磨き、地 域の「美」的、「歴史」的、「文化」的価値を理解し、自然との共生の視点から地 域の伝統的文化や景観を創生できる基礎的能力を培う。
- (B-1) 基礎的造形能力を培う。
- (B-2) 歴史、文化、国際社会、地球環境を理解する基礎的知識を修得し価値観を培う。
- (C) 地球環境・国家・地域社会において、真に人間的な住環境を創生するため に、社会的義務と責任を重んじ、自然との共生の視点を持って自律的に行 動する「人格」を理解する。
- 社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力と継続的に学習できる能力 を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を理解する。
- (D)「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総 合する能力を養い、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創 生する基礎的能力を培う。
- (D-1)「直」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの 世界に具体的に実現する基礎的能力を培う。
- (D-2) 様々な専門家、技術者との共同の重要性を理解する。

取得可能な免許・資格

受 一級建築士

科修士課程の修了は実務経験2年とみなされます)

受 RLA(登録ランドスケープアーキテクト)

(学部卒業後実務経験3年以上必要。ただし本学大学院建築学研究科景観建 築学専攻修士課程の修了は実務経験2年とみなされます)

(学部卒業後実務経験2年以上必要。大学院における建築設備の研究は、そ れに従事した期間相応の実務経験とみなされます)

- 受 1級建築施工管理技士(学部卒業後実務経験3年以上必要)
- 受 2級建築施工管理技士(学部卒業後実務経験1年以上必要)

(一級建築士取得後、建築行政または指定確認検査機関で実務経験が2年

受 インテリアプランナー登録資格

測量十(学部卒業後実務経験1年以上必要)

JABEE認定プログラム修了【エンジニアリング系学士課程建築学・

受:受験資格

想定される進路

設計事務所(建築、景観などの設計)

総合建設会社(設計、施工管理など)

住宅メーカー

官公庁

ディベロッパー

コンサルティング企業(調査、施設企画など)

教育研究機関(大学などでの教育、研究)

武庫川女子大学をより知っていただくため、この学科パンフレットとともに大学全体を紹介する「キャンパスガイド2021」「短大ガイドブック2021」をお読みください。 専門外の科目が自由に選択でき、社会に通用する教養を身に付ける共通教育、一人ひとりのキャリア形成をサポートする進路支援など、本学の学びの特長を紹介しています。





森と庭園と名建築に抱かれて、 心豊かに学ぶ。

建築学部のある上甲子園キャンパスは、"生きた教科書"に満ちあふれています。1930年に甲子園ホ テルとして建てられた名建築「甲子園会館」は、フランク・ロイド・ライトの愛弟子・遠藤新による 芸術作品。その甲子園会館と調和する、景観建築学科のための2つの新校舎も建設中です。さらに、キャ ンパス内には、桜、クスノキ、松などの樹林や竹林が広がり、池を巡る池泉回遊式庭園、茶室や露 地もあります。人と建築と自然の共生を日常的に体感しながら学べる、それが景観建築学科です。



■上甲子園キャンパス全景。建設予定の景観建築学科の新校舎「東棟(仮称)※」および「西棟(仮称)※」と 2 学科共同で使用する「甲子園会館」(中央) ※完成予想図CGを合成









■ライトアップされた庭園の紅葉と「甲子園会館」

キャンパス内の森や庭園で植物に触れなが ら、その種類、特性、生態を学習。演習で 制作した造形作品は、樹林や花を背景に写 真撮影。さらに、秋には学生の手で庭園を 芸術的にライトアップ。甲子園会館と周囲の 自然が紡ぎだす表情は天候や季節により変 化し、"生きた教科書"のひとつとなります。



甲子園会館と共鳴する2つの新校舎。



「東棟(仮称)」完成予想図



■甲子園会館のデザインを継承し、1年生のスタジオがある ■2年生から大学院生までのスタジオがある「西棟(仮称)」完成予想図



■1年生が使用する「スタジオ」完成予想図

1人1台専用の 製図机とパソコンを 備えたスタジオ。

学年ごとに分かれたスタジオには、入学から卒業まで専用で 使える畳1帖サイズの製図机とパソコンを完備。 心おきなく 建築・景観設計に取り組めます。この充実したスタジオこそ 建築学部の特長であり、学生と教員が一対一で進める対話 型演習には不可欠なのです。各自の製図机と作品展示スペー スは、日々の成果を発表する"ショールーム"にもなります。

演習中心の欧米型スタジオ教育。

学びの Point

- ▶1年生から始まる充実の専門教育で、ランドスケープと建築を一体的に学習
- ▶全授業時間の半分以上を占める「演習科目」で豊かな感性と確かな技術を体得
- ▶[演習科目][講義科目][実習科目]を有機的につなぎ、専門知識と技術を修得
- ▶午前は講義、午後は演習にじっくり集中し、専門知識とともに創造力を養成
- ▶1学年定員40人の少人数制による、教員と学生一対一のきめ細かな対話型教育
- ▶演習中心のコースワークに取り組む、大学院とあわせた6年一貫教育

Curriculum

博士後期課程3年				博士	論文		
大学	後期			修士設計	修士論文		
大学院修士課程	前期 2 _{年生}	一級建築士	ンシップ科目 建築業務では、 の資格取得に 経験2年」に相当 を発表者である。 経験2年」に相当 というシャンシャンフェー	建築設	計実務	景観設計論 景観線化 工学特論 景観生態学 特論	景観建築 フィールドワーク VI
	後期	インシップー		景観建築設語	計総合演習 B	建築計画 建築家の 景観計画論 景観緑地 計画特論 建築構造 建築環境設備 景観映像 特論 設計論 B 設計論 B 景観建築	- 海外保存 ・ 房復実習 ・ 景観建築 フィールドワーク VB
2年	前期 1 _{年生}			景観建築設計総合演習 A		建築構造 建築環境設備 景観映像 建築都市 設計論 A 設計論 A 財務	景観建築 フィールドワーク VA
	後期	Н			研究 •卒業論文)		
	前期			景観建築詞	设計演習 V	建築設備 環境職業 倫理	景観建築 フィールドワーク IV
224	後期	人文		景観建築記	设計演習 IV	建築法規 建築環境 景観設計 流域保全学 建築施工 文化遺産 保全学 水理学	・
学士課程	前期 3年生			景観建築詞	设計演習 Ⅲ	建設材料 建築一般 構造 都市計画 土質力学 建築生産	建築都市 緑化実習 III ティールドワーク IIIA
4	後期		景観建築 英語 IV	景観映像情報 演習 II	景観建築設計 演習 II	建築法規 建築環境	建築都市 緑化実習 II 景観建築 フィール・ワーク IIB
年	前期		景観建築 英語 III	景観映像情報演習丨	景観建築設計 演習	世界建築史 構造力学 I 世界庭園史 建築計画	建築都市 緑化実習 景観建築 景観建築 特別実習 IIA
	後期		「最初」 景観建築 景観建築	測量学実習	設計基礎 演習	建築一般 測量学 構造	景観建築 植物実習 II 景観建築 フィールドワーク IB
	前期 1 ^{年生}		初 景観建築 景観建築 期 数学 英語 漢習	景観映像情報 基礎	表現基礎 演習	日本建築史 日本庭園史 景観建築 植物学	景観建築 植物実習 I 景観建築 ライールドワーク 特別実習 I IA
		共通教育科目	基礎教育科目	全授業時間の半分以上を 占める演習 演習科目		演習、実習と連携しながら幅広い知識を学ぶ ■ 建築系 ■ ランドスケープ系 講義科目	植物・緑化 フィールド 実習 ワーク 実習科目
				専門教育科目			

学部1年生から始まる充実の専門教育 ※カリキュラムは 2021 年 4 月に入学する学生のものです (予定)。 ABEE (学士課程)認定基準適合級建築士 学歴要件 充足

実務要件

充足

「ランドスケープ」「建築」「映像情報技術」を 融合した幅広い学びで、 確かな技術と豊かな感性を養成。

授業紹介 ※学部1年生~4年生の授業から抜粋して紹介しています。大学院の授業については13~14ページをご覧ください。

[演習科目]

教員と学生一対一の対話型 演習で、創造力を刺激

1年生前期では、いけばな、デッサン、陶 芸などの造形演習に取り組み、創造力と感 性を多角的に磨きます。1年生後期からは、 半期に2課題ずつの問題解決型の設計演 習。「ランドスケープ」「建築」「映像情報 技術」を総合的に学習するため、それぞれ の担当教員3人が学生一人ひとりの机をま わり、一対一で対話しながら指導します。

景観建築設計演習 I~V

ランドスケープと建築の設計が一体化した課題に取り組み ます。一人ひとり専用の製図机とパソコンのあるスタジオ で、教員が学生と一対一できめ細かく指導。中間発表や 最後の講評会では、学外の建築家や専門技術者の講評を 受けます。※詳しい課題は9~12ページをご覧ください。



景観映像情報演習 |・||

CADやCGソフトを駆使した景観シミュレーションや GIS (地 理情報システム)の活用方法を学習。その成果を、[景 観建築設計演習〕の設計課題における敷地分析や設計案 の検討、プレゼンテーションなどに応用します。



「講義科目」

景観と建築の美の調和から 最新技術まで広く深く学習

建築学とともに、公園・都市など景観に関 する専門知識を継続して体系的に学びま す。日本・世界の建築史や庭園史、自然環 境保全の理念に加え、測量、都市計画、 景観緑地計画などの方法・技術を体得。建 築・景観設計技術者としての倫理観も身に

西洋建築を中心に、その歴史と空間構成、 背景にある文化や建築思想を学ぶとともに、

景観に関する法制度から、景観の分析・評 花や緑が都市におよぼす影響は、景観の向

構造物の安全性を確保するために欠かせな い、静定構造力学と不静定構造力学の基礎

条件に応じて種を選択し、景観建築設計に

[実習科目]

土曜日のフィールドワークや 植物・緑化実習で実践力を向上

演習・講義科目に関連した敷地や庭園、街並 み、景観建築、建設現場などの見学と専門 家らの説明を通して知識や技術を具体的に 化実習では、植物ごとの特性や管理法などを





(演習)

美をカタチにする表現力と、 歴史・文化・風土に 根ざした創造力を磨く。

年生

表現基礎演習 1年生前期

「芸術家や専門家との全人格的な交流から、美の本質と造形の基本を体得」

■陶芸

粘土で手びねりの四角筒をつくって 伝統的手法「タタラ盛り」で、甲子園



■ デッサン

■水彩建築パース

■甲子園会館の瓦



■日本画

■光と陰影の表現

いけばな

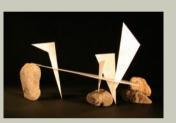
いけばなを体験し、日本文化の基



■書道と漢詩

■動画と音による映像作品

対立による調和



■グラフィック

■盆景

景観建築設計演習 I 2年生前期

「日本庭園や西洋式庭園のあるくらし」

学部2年生

日本の住宅建築と庭園の歴史・特徴を理 解したうえで、木造の小住宅と庭園を一体 的に設計する課題に挑戦。また、[景観映 像情報演習]と連携して、CADやCGソフト を応用したリアルな透視図の作成や、GIS (地理情報システム)を用いた基礎的な地 形分析にも取り組みます。

「雄大な自然の眺望と融合する景観」を 造の小ホテルと西洋式庭園を一体的に設 形を分析し、設計に活用。さらに、課題敷 地の斜面地形を測量し、敷地図や地形の



景観建築設計演習Ⅱ 2年生後期

「渓流の景観デザインと流域の分析 集合住宅とコミュニティの形成」

 \vdash

0)

庭園や建築の設計から、日本や西洋の自然観・文化を理解。

後期からは設計演習です。課題を通して、景観・建築設計の根幹である空間の概念に加え、自然観と空間構成を正確に理解します。 2年生になると、ランドスケープと建築を一体的に設計する課題に挑戦。自然と共生する住環境を創生する基礎的能力を培います。

1年生前期では、自分の内面と向き合うことで養われる「美」の表現力を、専門家から直接手ほどきを受けながら磨きます。

設計基礎演習 1年生後期

「空間の基礎概念および日本の自然観と伝統的空間構成」

「空間の基礎的な概念の理解」をテーマ する課題に取り組みます。景観設計に適し た植物の種類も学習。また、課題と連携し た[測量学実習]では、課題敷地の測量、 敷地図の作成や地形の解析などにも挑戦



「日本の自然観と伝統的空間構成」 をテーマに、仏教寺院の庫裏また は方丈と借景庭園を一体的に設 計。日本の伝統的な木構造や借景、 材料に加え、自然を象徴的に縮小し 建築空間に導入して楽しむ伝統的 石組「咫尺千里(しせきせんり)」や 縮景の理念などを学びます。また、 の3Dモデル作成、写真測量データ 戦。課題に適した植物の種類や敷 地周辺の植生についても理解を深

渓流沿いの景観とそこに調和する和風旅 館を一体的に設計し、日本的な山水風景 の特徴や内外空間を有機的につなぐ構成 について学びます。さらに、GISを用いて、 渓流を中心とした課題敷地周辺の地形と 流域を分析し、山の地形と水の流れを理 解。山林や川を整備して、洪水や土砂崩れ などの水害を予防する「治山治水」につい ても理解を深めます。



0)



などについて多角的に学習。さらに、CAD を用いて設計案のウォークスルー動画を 作成し、景観シミュレーションも行います。

※演習課題の内容は変更される場合があります。

10

12

(演習)

人・都市・自然が織りなす100年先も心地よい 住環境を考える。

学部3年生

景観建築設計演習Ⅲ 3年生前期 「稲作のための水景と集落 理想の自然景観」



Department of Landscape Architecture

す。その特徴や水系の形態、植生などを理 解し、水路やため池を中心とした現代の 集落と街並み、街路、公園などを一体的に 設計。GISを活用して、ため池を中心とした 土地利用の変遷や水系などの分析にも取 り組みます。

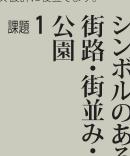


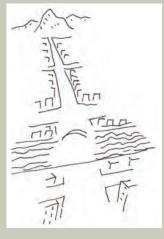
を活用して、起伏のある複雑な地形の3D モデリングを用いた景観シミュレーション にも取り組みます。



景観建築設計演習 **Ⅳ** 3年生後期 「象徴的な景観 海と街並み」

象徴的で、人や自然にやさしい都市景観 を創生する課題に挑戦します。街路計画 の基本的な考え方、街のシンボルと街路 の関係、交通計画の基礎、地域の生態系 などを理解したうえで、街路、街並み、小公 園を一体的に設計。GISを用いて対象地域 の地表面の状態を表す土地被覆の状況 などを分析し、設計に役立てます。







人にやさしい海岸について、季節の変化 や潮の満ち引き、海辺の植生などに加え、 防災面からも考慮します。そして、海岸と その海岸沿いに歩いて楽しい街並みを-体的に設計。GISによる土地利用や緑被の 分布状況の分析、高度な測量技術やVR (仮想現実)技術を駆使した景観シミュ レーションを行い、デザインの検討やプレ ゼンテーションに役立てます。

山、川、海、緑地、街路と建築を融合し、 総合的な景観を設計する力を修得。

3年生になると、田園風景の特徴や理想的な自然景観を理解し、

4課題の建築・景観設計に取り組みます。4年生前期は、人と自然にやさしい都市を追究。 後期は各自が決めた卒業研究に集中し、建築と景観の理想像を創造します。

学部4年生

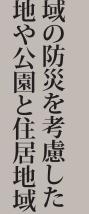
景観建築設計演習 V 4年生前期

「都市のイメージ 河川流域の治山治水に基づく都市デザイン」

2題1水わ都 か市



成します。GISを活用して、都市構造を解 析・理解。さらに、イメージマップでの調査 などから、都市のイメージと地形・山・川・ 海との関わりなどを探求し、その都市の生 態系や植生についても学びます。



緑流飄2



河川流域の土地利用や緑被の分布状況、 そして雨水の利用や循環を考慮し、安全 で美しい川沿い地域の住居、緑地、公園を 計画・設計します。ジョギング、イベントな どに活用される河川敷や、両岸の街並み のデザインを提案。GISを用いた水害シス テムのシミュレーション作成や、建物の高 さ・形態・色彩などの制限による景観コン トロールの論理についても学びます。

卒業研究(卒業設計•卒業論文) 4年生後期 「理性と感性の高度な総合による研究と設計」

景観・建築の設計とは、理性によって人、建築、景観、自然の関係を的確かつ迅速に把握し、感性 によって文化・芸術として美しく創造することです。そのため、互いに関連したテーマで卒業設 計および卒業論文の両方に取り組むのが、本学科の特長。各研究室に所属して教員ひとりの指 導を受けるのではなく、研究室の垣根なくグループ単位で複数の教員の指導を受けます。4年間 の学びの集大成は、卒業研究発表会。学外から招いた多くの専門家の前で、学生全員がプレゼ

- ■研究テーマ例 ・庭園文化をいかした公園の設計
 - ・日本と諸外国における自然観と景観
 - ・自然と建築が調和する美しい屋上・壁面緑化

専任教員紹介

■ 石田潤一郎 教授 (予定) <景観建築設計演習、近代建築史など 工学博士、京都工芸繊維大学 名

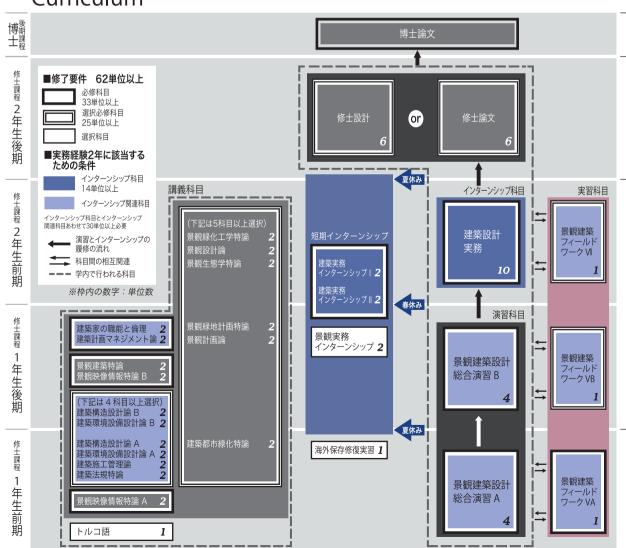
※演習課題の内容は変更される場合があります。



景観建築学専攻 修士課程/博士後期課程

自然・建築・映像情報の「理論」と「実践」が有機的に連携するカリキュラム

Curriculum



1~3年生

2年生後期

修士研究は、[修士設計]ま たは[修士論文]を選択。

1年生後期・ 2年牛前期

「実務経験2年」の認定に 必要な[インターンシップ 科目]と、より高度で実践的 な[演習科目](インターン シップ関連科目)を履修。 より高度な専門知識や最 先端の研究成果に触れる [講義科目] や、[演習科目] [講義科目]と連携した「実 習科目す、開講。夏・春休暇 には、短期インターンシッ プを履修。

1年生前期

大学院における実務教育 の基礎として必要不可欠 な「インターンシップ関連 科目](演習科目·講義科 目・フィールドワーク科目) を履修

真の自然共生を実現 できる倫理観を備えた、 建築・景観設計技術者や 研究者を養成。

これからの持続可能な社会や建築、都市の創生には、自然との関 係が重要です。景観建築学専攻では、自然と共生する社会に貢献 できる高度な建築・景観設計技術者や研究者を、「ランドスケープ」 「建築」「映像情報技術」が融合した学びを通して養成します。

学びの Point

- ●一級建築士の免許登録に必要な「実務経験2年」に相当
- ●RLA(登録ランドスケープアーキテクト)の受験資格取得に必 要な「実務経験3年」のうちの2年に相当
- ●研究室に所属せず、学生全員が共通のコースワークに取り組 む、演習中心の欧米型スタジオ教育
- ●映像情報技術を活用しつつ、景観と建築を総合的に設計する 対話型の設計演習
- ●スタジオには、1人1台専用の製図机とパソコンを完備
- ●土曜日は、「見て触れて学ぶ」フィールドワーク

授業紹介

研究指導I~VI、先端景観建築学演習

修士設計・修士論文 修士課程2年生後期

修士課程の集大成として、各自がテーマを設定し、研究を進めます。 自ら得た新たな知見を空間構成として総合化し、その成果を建築・ 景観設計または論文にまとめて、プレゼンテーション。社会で自律 的に行動し、活躍できる高度で知的、かつ感性豊かな専門職能を 確立します。

建築設計実務 修士課程2年生前期

学内外の実案件などを対象に、新築・改築・保存・修復などの実 務を半期(300時間)にわたって実習します。教員の指導のもと、 構造・設備設計者や施工者ら多くの専門家と協働する方法や施工の 状況を実地から学び、コスト、スケジュールなどさまざまな制約条 件を理解。実践的能力を身に付けます。

景観建築設計総合演習 B 修士課程1年生後期

基本構想から基本計画、基本設計に至る、プロセスを重視した2課 題「GISによる高度な分析に基づく景観の基本構想と設計」と「文 化的景観を形成する庭園と建築」の2つのテーマを取り上げ、計画 地周辺の分析図を作成し、その分析をもとに景観を構想、設計しま しす。ランドスケープと建築が一体となる作品の創造を目指します。

景観建築設計総合演習 A 修士課程1年生前期

作」と「茶室と露地の設計」の2課題に取り組みます。複数の教員 が学生と一対一できめ細かく指導し、自然素材の活用や生態系と共 生する手法なども検討。講評会では、学外の造園家や建築家など 専門家の講評を受けます。



ディプロマ・ポリシー(修士課程) (A) 高い「理性」により、「強」や「用」を含む「真」の視点から建築・景観的事象を理解す

する実践的能力を修得している。

きる実践的能力を修得している。

的文化を創生できる実践的能力を修得している。

(B-1) 基礎的造形能力を培っている。

身に付けている。

実践的能力を修得している。

るための広範な「知識」を修得し、さらに修得した「知識」の統合により問題を解決

(A-1) 語学や諸学の基礎学力の修得、及び自らの主張を社会に提案し、合意を形成で

(A-2) 構造や諸災害などに対する安全性を「強」として理解し、その基礎的・先端的技術を積 極的に吸収し、演習や実習によって空間的に構成する実践的能力を修得している。

(A-3) 機能性や環境負荷などに関する快適性を「用して理解し、その基礎的・先端的 技術を積極的に吸収し、演習や実習によって最適な空間を構成する実践的能力

(A-4) コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらのもとで、適切な設

「美」的、「歴史」的、「文化」的価値を理解し、自然との共生の視点から地域の伝統

(B-2) 歴史、文化、国際社会、地球環境を理解する実践的知識を修得し価値観を身に付けている。

的義務と責任を重んじ、自然との共生の視点を持って自律的に行動する「人格」を

社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力と継続的に学習できる能力を身に

(D)「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合す

る能力を身に付け、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する

(D-1)「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に

(D-2) 様々な専門家、技術者との共同の重要性を理解し、チームワークで建築をつくり

※本学建築学科を卒業後、本学大学院景観建築学専攻修士課程に入学し、修了した学生は、UNESCO-UIA対応

(C) 地球環境・国家・地域社会において真に人間的な住環境を創生するために、社会

(B)「感性」豊かな個性を、関連する「知識」や実践的「創作」活動により磨き、地域の

計・施工計画を進められる実践的能力を修得している。

付け、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成している。

具体的、実践的に実現する能力を修得している。

こむことのできる能力を修得している。

課題 2 文化的景観を形成 する庭園と建築

国内外の文化的景観に焦点を当て、地域の 風土、文化、植生などについて調査・分析し 自然と人間の営みが調和する景観の形成に 寄与する庭園と建築を総合的に設計します。



課題 1 自然と一体となった 原寸大の空間構築

原寸大空間の原初的・直感的・身体的体 な世界と実際の空間との矛盾を体得します。

自然と一体になった建築をテーマに、「インスタレーションの共同制

共同でインスタレーションを設計・制作

※カリキュラムは 2021 年 4 月に入学する学生のものです (予定)。